

# 目指せ！広島県子ども観光大使 三次教室 豪雨災害を乗り越え、 450年の伝統の灯をともし鶺鴒に触れる



平成30年8月10日(金)。「目指せ！広島県子ども観光大使」(三次教室)を開催しました。西日本豪雨災害の影響で、三次の鶺鴒も大変な被害を受けていました。観光大使の開催に合わせて復旧してくださいました。関係された皆様の尽力に感謝するばかりです。今回の教室では、三次の鶺鴒を全国に紹介するための観光動画を作成しました。子供たちは、そのナレーションを考えました。

三次市観光協会と  
連携して開催！



三次市観光協会  
会長 政森 進 様のご挨拶

「子ども観光大使」があるから、何としてもそこまでは再開したいと思ってました。昨日予行演習をして皆さんをお迎えました。皆さんの年代で三次の鶺鴒を取材してそれを情報発信する素晴らしい教室です。がんばってください。

## 鶺鴒会長 日坂文吾様から、三次の鶺鴒の魅力を知りました



日坂様をはじめとする3名の鶺鴒の方々が、450年続く三次の伝統の鶺鴒を引き継いでおられます。



鶺鴒のどの魅力を伝えようかメモを取りながら聞きました。

【日坂様の話(要約)】鶺鴒は鶺鴒が鶺鴒という鳥を使って魚をとる方法です。鶺鴒は水かきを上手に使いとても速く泳ぐことができます。目にも水中めがねの役割をする瞬膜があり、魚を素早く見つけることができます。鶺鴒は揺れる鶺鴒舟に裸足で乗り、鶺鴒に結んである7mもある手綱を足の指に巻き付け、川の様子を見ながら鶺鴒の様子も見て、上手に手綱を操ります。かなりの技術が必要です。難しいけれど面白いですよ。鶺鴒の躍動する姿を見てください。

## 鵜を間近で見て、鵜に触れて大興奮



最初は慎重な子供たちでしたが、実際に鵜に触れて毛の感触などを確かめました。

鵜飼の説明の際には、鵜を見せて下さいました。かごの中からクワクワと元気な姿を見せてくれた鵜にびっくり。鵜の身体づくりや、どのように捕まえた魚を吐き出すのか、よく理解できました。実際に鵜に触れ、鵜の様々な表情を見ることが出来た子供たちは大興奮でした。

## 鵜舟に並走！ 眼の前での鵜飼体験



並走する船の中から、鵜飼の様子を見学



眼の前で繰り広げられる鵜飼の風景

夜の帳が下りるところになると、いよいよ鵜飼の始まりです。カーバイトランプという照明の光で川底を照らし、驚いて出てきた川魚を鵜が潜って捕えます。三次の鵜飼は、鵜匠が鵜を操る手綱（たなわ）が7mと日本一長いことも特徴です。鵜が鮎を捕まえて船に上がってくるたびに、子供たちから拍手と歓声が上がりました。

## 捕れた鮎を間近で見学



捕れた魚です

鵜はとっても鵜匠になつていました。

最後に仕事を終えた鵜と、鵜が捕まえた鮎とを間近に見せていただきました。たくさんの魚を捕まえているのにみんなびっくりしました。

## 三次の鵜飼を全国に発信



はっきり、しっかりとした声で録音できました。

三次の鵜飼を全国の人に知ってもらおうと、観光動画づくりに挑戦しました。ペアで鵜飼の魅力伝える原稿を考え、マイクに向かって語りかけることができました。

## 参加者の感想

- ◆ 漁や魚のとり方も分かって、面白かったです。（4年 男子）
- ◆ 鵜が魚を喉にためて、鵜匠さんが喉にためていた魚を出していたところが、すごかったです。（3年 男子）
- ◆ 三次の手綱は、日本一長くてウミウとカワウの2つがいることを知りました。（5年 女子）
- ◆ 三次の鵜舟は軽く遠くまで行けるよう、細長い形になっている工夫があります。皆さんにも三次の鵜飼を間近で見たいです。（6年 男子）

- ◆ 伝統文化ってすごいと思いました。鵜飼の歴史や、鵜の話が観光に深みを与え、夜（夕暮れ）という独特の雰囲気が、より特別な時間を感じさせてくれました。子供の時にこのような経験ができるってあらためて大切だと思いました。わたしたち大人ももっと伝統を守るためにも、もっと伝統文化に触れ楽しんでいきたいと思いました。（保護者）
- ◆ 一人でたくさんの鵜をあやつる姿に感動しました。鵜匠の方から詳しい説明があり、とても分かりやすかったです。鵜がとてもカワイイです！来て良かった。（保護者）

## 観光動画

動画を公開しています。  
【QRコード】



【検索サイト】

子ども観光大使 広島

検索

「これまでの取り組み内容」欄の「平成30年度」ボタンをクリック。